

# 勢和小学校だより

発行日：令和5年5月23日 第3号

## 安心・安全な学校づくり

今年度、勢和小では、子どもにとって、保護者にとって、教職員にとって安心・安全な学校になるよう、取り組みを進めます。

**子**どもにとって安心・安全な学校とは、保護者の皆さんはどのような学校を想像されますか。

私たちが考える安心・安全な学校とは、第1に子どもたちが安心して過ごせる学校であることです。

いじめなど嫌な、つらい思いをすることがない、話を聞いてくれる人がいる、弱音が吐ける、認められることはもちろんのこと、授業内容が分かる、できるが増える等など、一人一人が大切にされる学校です。

また、事故、ケガ、災害をはじめとする様々な危機を未然に防止できることも安心・安全な学校には必要です。

子どもたちにとって安心・安全な学校を作るため、教職員の指導力を向上させ、教育活動の9割と言われる授業を改善し、分かる喜び、できる楽しさが実感できるように努めます。また、児童生徒理解力を高め、子どもたちの困り感や分からなさをきめ細かく把

握し、寄り添いながら、友達関係を築き、子どもたちの主体性を尊重していきます。

さらに学校には環境未整備によるケガや事故、熱中症、感染症拡大、体育（水泳）・理科実験など授業中のケガや事故、交通事故、地震などの災害、不審者侵入、情報漏洩など様々な危機があります。それらを未然に防止し、万が一危機が発生しても最小限に食い止めることが必要です。教職員の危機意識を高め、危機管理・安全教育を進めていきます。

このような、子どもにとって安心・安全な学校を築いていくことが、保護者のみなさんにとっても安心・安全な学校につながっていくと考えています。

さらに、お子さんのことについて等、**相**談しやすいことも保護者にとって安心・安全な学校だと思います。気づかれたこと、心配なこと等、保護者の皆様には遠慮なくご質問、ご要望をお寄せください。

最後に、教職員にとって安心・安全な学校について。

全国的にも叫ばれている教職員の**時**間外勤務を縮減し、子どもたちと向き合う時間を確保できる学校を目指します。

【裏面あり】

子どもと向き合う時間とは、相談にのったり、一緒に遊んだりすることはもちろんのことですが、授業の準備、指導に関する情報交換などの時間も含まれます。本校職員も時間外勤務が多いことから、その原因を探り、学校内で対処できることは早々に取り組んでいきます。

しかし、学校だけで対処できることは限られています。

本校教職員の時間外勤務縮減に向けて、行事や会議等、教育活動のあり方を見直しています。保護者や地域の皆様にはご無理をお願いすることがあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。この件に関しましてもご意見やご要望は遠慮なく学校までお知らせください。

## 5年生 しろかきに挑戦

晴天に恵まれた5月16日、5年生が米作りの学習として代掻きしろかきに挑戦しました。

SOCS活動で米作りの講師を務める小島さんから、「しろかきの『しろ』とは田んぼのことで、田んぼをかき回すこと。」

## 6月の主な予定

日	曜	児童の活動	日	曜	児童の活動
2	金	内科検診1,3,4年、6年生社会見学、SOCS活動 1年生さつまいもづくり	12	月	プール掃除予備日 4年生下水道出前授業
5	月	委員会活動②(5・6年)	16	金	内科検診2,5,6年
6	火	SOCS活動 5年生 米作り	19	月	プール水泳開始
8	木	耳鼻科検診(1・3・5年)	22	木	眼科検診(2.4.6年)
9	金	プール掃除			



と教えられ、子どもたちは学校下にある田んぼの中を走り回ったり、跳びはねたりして田んぼをかきまわしていました。途中、綱引きをする場面では、ドロドロになりながらも楽しそうにしていました。

活動後、体育館で着替えをしていた人たちが、フロアに落ちていた泥をモップがけして掃除していました。大切なことですね。

今後、5年生は田植え、水の道調べなどを行い、9月には稲刈り・脱穀作業などを予定しています。

また他の学年でも、5月から7月にかけて、サツマイモや大豆の種まきなどの体験活動を行う予定です。これらの活動は今後学校HPでも紹介していきます。